

京都府営水道ビジョン（第2次）

【中間案】

目次

はじめに P 1

第1章 事業展開の方向性 P 2

- 1 府営水道が抱える課題 P 2
- 2 第1次ビジョンの取組状況 P 4
- 3 基本理念 P 5
- 4 ビジョンの位置づけ等 P 6

第2章 事業展開の基本的な考え方 P 7

- 1 取組時の3つの着眼点 P 7
- 2 目標の設定 P 8

第3章 事業目標と取組 P 10

- 1 災害等リスクに対応する施設強靱化
 - (1) 浄水施設の老朽化対策の推進・耐震化率の向上 P 10
 - (2) 管路施設の老朽化対策の推進・耐震化率の向上 P 12
- 2 安心・安全のための水道システムの充実 P 16
- 3 危機管理対策の推進強化 P 20
- 4 ICT/IoT技術の活用 P 24
- 5 地球温暖化対策への貢献 P 26
- 6 持続可能な事業運営体制の構築
 - (1) 事業運営に必要な人員の確保 P 28
 - (2) 収支均衡した事業運営と経営指標の改善 P 30
- 7 将来の水需要を見据えた広域化・広域連携の推進 P 31

第4章 経営の見通しと方向性 P 32

- 1 経営状況の分析 P 32
 - (1) 経営の健全性・効率性 P 32
 - (2) 施設老朽化の状況 P 35
 - (3) 人員配置の状況 P 36
- 2 将来の見通し P 38
 - (1) 水需要の予測 P 38
 - (2) 施設の更新需要 P 39
 - (3) 短期的な収支見通し P 41
 - (4) 長期的な収支見通し P 44
- 3 府営水道の給水エリア全体の給水原価の見通し P 47
- 4 広域化・広域連携の推進と経営形態の検討 P 50
 - (1) 施設統廃合による施設規模の適正化 P 50
 - (2) 施設規模の適正化効果 P 52
 - (3) 広域化・広域連携の推進と経営形態のあり方 P 55
- 5 建設負担水量の調整 P 57
 - (1) 建設負担水量 P 57
 - (2) 建設負担水量の調整 P 58
 - (3) 水量調整の方向性の合意に向けて P 59

第5章 ビジョンの進捗管理 P 62

- 1 進捗状況の把握・共有 P 62
- 2 状況変化への柔軟な対応 P 62

資料編